

株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法 電子公告
ホームページ : <http://www.soft99.co.jp/ir/koukoku.html>
電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載いたします。
※ 当社の貸借対照表、損益計算書はEDINET (金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。

単元株式数 100株

上場金融商品取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部

インターネットホームページ <http://www.soft99.co.jp>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



第61期 年次報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

ソフト99コーポレーション

株主優待

株主様に、当社事業に対するご理解を深めていただくため年一度^(※)、株主優待制度を実施しております。平成27年3月期の株主優待(概要)は右記のとおりです。

※平成27年3月末日の株主名簿に記載の株主様が対象となります。ただし、単元未満株式のみお持ちの株主様は、対象外とさせていただきます。

100株以上500株未満	当社製品セット (選択なし)
500株以上1,000株未満	当社およびグループ会社の製品・サービス4コースの中から2コース選択
1,000株以上	当社およびグループ会社の製品・サービス4コースの中から3コース選択

以上

「生活文化創造企業」の 経営理念のもと、 更なる成長を目指します。

代表取締役社長
田中 秀明



当期の業績についてのご報告

当期は第4次中期経営計画「SOFT99 Drive」の初年度であり、当社グループ丸となって計画達成に向けて取り組んでまいりました。

ユーザーの購買環境については株価上昇・賃金上昇などプラス要素はあったものの、消費増税や円安進行等によるマイナス要素も強く影響し、主要得意先であるカー用品専門店や各種量販店などの店頭においても厳しい販売状況であったと認識しております。

このような中で、当社グループは「生活文化創造企業」の

経営理念のもとで、「お客様に長く愛される」新たな製品・新たなサービスの創出を目指して事業運営活動に努めてまいりました。

特に新しい取り組みとして、他企業とのコラボレーション製品開発やOEMによる新たな製品の提供を進めてまいりましたが、当期の当社グループ業績につきましては、残念ながら前年を上回ることができませんでした。

当期の主な取組みについてのご報告

主力のファインケミカルセグメントにおきましては、主

に国内製品販売においては更なる高付加価値製品の開発、海外向け製品販売においては既存製品のローカライズ強化による販売の増加に取り組んでまいりました。先進国で求められる要求水準への新たな技術対応を行いつつ、新興国向けには既存技術を横展開することで、より効率的に販売ルートの拡大を目指しております。また、新たな事業として、TPMS（タイヤ空気圧監視装置）の企画・開発・販売事業を開始いたしました。

ポーラスマテリアルセグメントにおきましては、産業資材分野において海外半導体市場から国内半導体市場への移行を進め、収益の確保に努めてまいりました。また、生活資材分野においては、継続的な新製品の開発と、海外の新販路拡大に努めてまいりました。

サービス・不動産関連セグメントにおきましては、既存店舗の運営効率向上に努めるとともに、介護予防支援事業といった新たな取り組みも進めております。

来期の見通しについてのご報告

主力のファインケミカルセグメントにおいては、新車販売台数の減少や小売店来店客数の減少、また、若者のクル

マ離れ等、特に国内においては引き続き厳しい環境が続くと思われま。また、ポーラスマテリアルセグメントにおいては海外半導体メーカーの生産縮小、サービス・不動産関連セグメントにおいては消費増税の影響による購買意欲の減退など、いずれも先行きは不透明な状況が予想されます。

このような中、当社グループとしましては、引き続き高付加価値製品・サービスの開発と提供、「新しいこと」への挑戦を継続することで、第62期につきましては、連結売上高22,100百万円、営業利益1,750百万円の達成を目指してまいります。

株主のみなさまへメッセージ

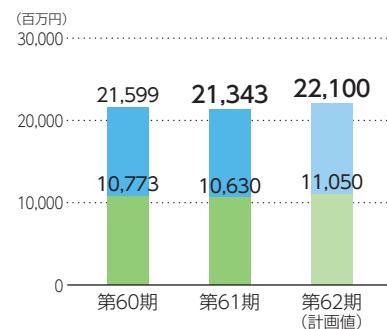
今後も当社グループは、「生活文化創造企業」の経営理念のもと、「未来のあたりまえ」となるような製品・サービスの創出を目指し、第62期も引き続き「新しいこと」への挑戦を継続することで、中期経営計画の最終目標達成に向けた活動に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

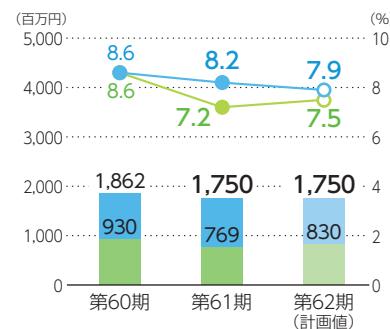
売上高

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



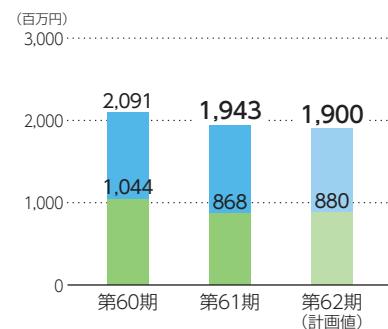
営業利益・売上高営業利益率

■ 営業利益 (百万円) ■ 売上高営業利益率 (%)



経常利益

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



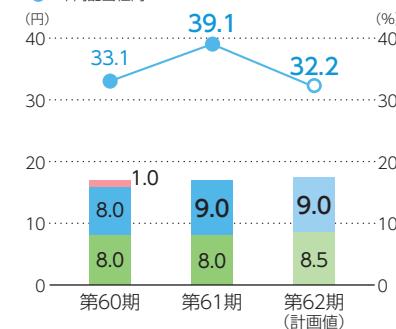
当期(四半期)純利益

■ 第2四半期(累計) ■ 通期



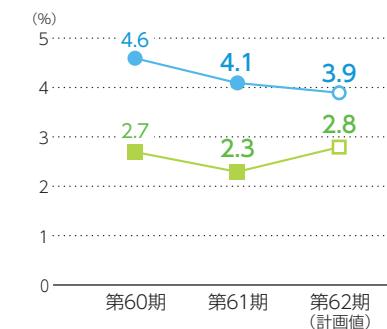
1株当たり配当金・配当性向

■ 中間配当金 ■ 期末配当金 ■ 記念配当金



ROE・ROA

■ ROE(純利益/純資産) ■ ROA(経常利益/総資産)



ファインケミカル

消費者向け製品販売

- ▶新しい技術開発への取り組み
 - ・降雪地域向けのスノーワイパー「ガラコワイパー パワー撥水 雪用」の発売開始
 - ・他社とのコラボレーションによって生まれた、「メガシャキ 芳香剤」の発売開始
 - ・超防汚被膜の形成によりホイールへのブレーキダスト付着を抑制する「ホイールダストブロッカー」の発売開始
- ▶新しい顧客開拓への取り組み
 - ・水なし拭きだけで本格的なコーティングができる「スムーズ エッグマイクロホイップ」の販売拡大のため、TVCM放映や高速道路PAでの販促イベントを実施
 - ・カー用品売り場以外での新規販売チャネル開拓を目指し、「フクピカ」シリーズのパッケージをリニューアル



▲ガラコワイパー パワー撥水 雪用



▲メガシャキ芳香剤



▲スムーズエッグマイクロホイップ



▲フクピカシリーズ

業務用製品販売

- ▶新しい技術開発への取り組み
 - ・輸入車のメッキモールの錆・くすみ除去に適した、「BeCARX メッキモール用クリーナー&コート」の発売開始
- ▶新しい顧客開拓への取り組み
 - ・鉄道車両、船舶、建物など、自動車以外の分野への取り組みを継続



▲BeCARX メッキモール用クリーナー&コート

家庭用製品販売

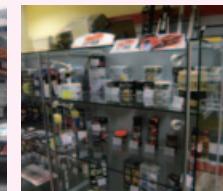
- ▶新しい技術開発への取り組み
 - ・マスク装着時に不快なメガネのくもりを解消する、「メガネのくもり止め濃密ジェル」の発売開始
 - ・他社とのコラボレーションによって生まれたスマートフォン用コーティング剤の発売開始
- ▶新しい顧客開拓への取り組み
 - ・眼鏡店向けメガネのシャンプーや楽器用クリーナーなど、各種OEM製品の提供拡大



▲メガネのくもり止め濃密ジェル

海外向け製品販売

- ▶新しい顧客開拓への取り組み
 - ・上海現地法人の営業体制強化
 - ・韓国やタイなど、アジア地域向けにガラスケア製品パッケージの現地語化を進める
 - ・ロシア向け専用製品の投入
 - ・その他、ポーランドなどで「G'zox」ブランドによるコーティング施工店展開の開始

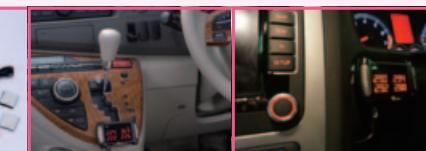


TPMS企画・開発・販売

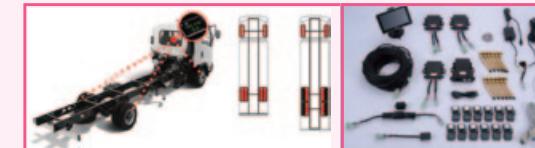
- ▶TPMS企画・開発・販売事業の開始
 - ・平成27年1月に、TPMS企画・開発・販売を行う株式会社オレンジ・ジャパンの全株式を取得
 - ・株式会社オレンジ・ジャパンは自動車運転の安全性向上と省エネルギーの実現を企業ミッションとし、運輸・運送・物流関連企業向けオリジナル商品の企画開発や、自動車部品等メーカー向けOEM/ODM商品提案、また、一般乗用車向けのアフターパーツ販売まで、TPMSを活用した様々な形のソリューションを提供します。



▲スポーツモデルTPMS [TP Checker P405B]



▼トラック・バス向けTPMS [TP Checker HT430]



TPMSの概要

- TPMS (Tire Pressure Monitoring System : タイヤ空気圧監視装置) は、タイヤの内部に送信機を内蔵したセンサーを設置し、そのデータを運転席に設置された受信機へ送ることで、走行中のタイヤ状況監視を可能とした装置です。
- 空気圧やタイヤ温度の変化を運転席にいながら確認することにより、タイヤ異常の早期発見・対応が可能となることで、タイヤトラブルを未然に防ぎ、燃費の悪化予防にもつながる、自動車の安全性の向上と省エネに効果の高いシステムです。
- アメリカではタイヤバースト事故をきっかけにタイヤの安全管理に関する法規制が定められ、2007年以降、アメリカ国内で販売される全ての新車にTPMSの装着が義務付けられています。
- また、近年では欧州や韓国でもTPMSの装着法制化が進められており、日本国内においてもTPMSの搭載車両が増加しつつあります。

数値目標



ポーラスマテリアル

産業資材分野

▶新しい技術開発への取り組み

- 医療分野(インフルエンザ検査薬) へのPVA技術の応用展開を推進
- 半導体メーカーが目指す次世代半導体の生産ラインに対応できる洗浄材の開発推進
- 各種基盤製造プロセスで対応可能な耐薬品性多孔質体の開発

▶新しい顧客開拓への取り組み

- 排水処理用、し尿処理用微生物担体の新規顧客開拓
- 拭き取り用スワブの新規顧客開拓
- 洗浄関連、医療関連展示会の出展による新規顧客開拓



生活資材分野

▶新しい技術開発への取り組み

- カーケア新製品 …… 粉碎スポンジを応用したパッド型クリーナーの販売開始
- ホームケア新製品 … 研磨技術を応用した汚れ落としシリーズの販売開始
- スポーツ&ヘルス … 女性の手になじむ薄型クロスを女性用ポディタオルとして販売開始
- ペットケア新製品 … 薄型スポンジクロスをペットタオルとして販売開始

▶新しい顧客開拓への取り組み

- カーケア製品のOEM販売拡大
- WEB活用でテスト販売・需要調査、実販売に繋げる活動の開始
- 海外の新販路拡大(中南米、アフリカ等)



数値目標



サービス・不動産関連

サービス

▶自動車整備钣金事業

- 新工場を移転設置した関東地区での積極的な営業活動により、モーターチャネル(保険代理店併設の自動車修理工場)からの入庫が増加

▶自動車教習事業

- 時間単価の高い職業免許教習のプログラム拡充
- 平成26年 兵庫県内入所者数1位の教習所となる。

▶生活用品企画販売事業

- 自社WEB販売サイト「ココ笑店」を中心としたインターネット販売ビジネスの拡大



不動産関連

▶不動産賃貸事業

- 旧東京支店ビル(秋葉原)のテナント入居数増加

▶温浴事業

- 各種季節イベントの実施による客数増加
- 独自飲食メニューの提供による客単価向上

▶介護予防支援事業

- 当社の遊休不動産活用の一環として事業運営を開始
- ポシブル医科学株式会社のフランチャイジーとして、11月より兵庫県尼崎市にリハビリ特化型デイサービス店舗開設



数値目標



連結財務諸表

連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

科目	当期 (平成26年4月1日~平成27年3月31日) (2014年4月1日~2015年3月31日)	前期 (平成25年4月1日~平成26年3月31日) (2013年4月1日~2014年3月31日)
売上高	21,343	21,599
売上原価	13,965	14,192
売上総利益 POINT ①	7,377	7,406
販売費及び一般管理費	5,627	5,544
営業利益 POINT ②	1,750	1,862
営業外収益	210	241
営業外費用	17	13
経常利益	1,943	2,091
特別利益	12	48
特別損失	266	231
税金等調整前当期純利益	1,690	1,908
法人税等	746	795
当期純利益	943	1,112

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

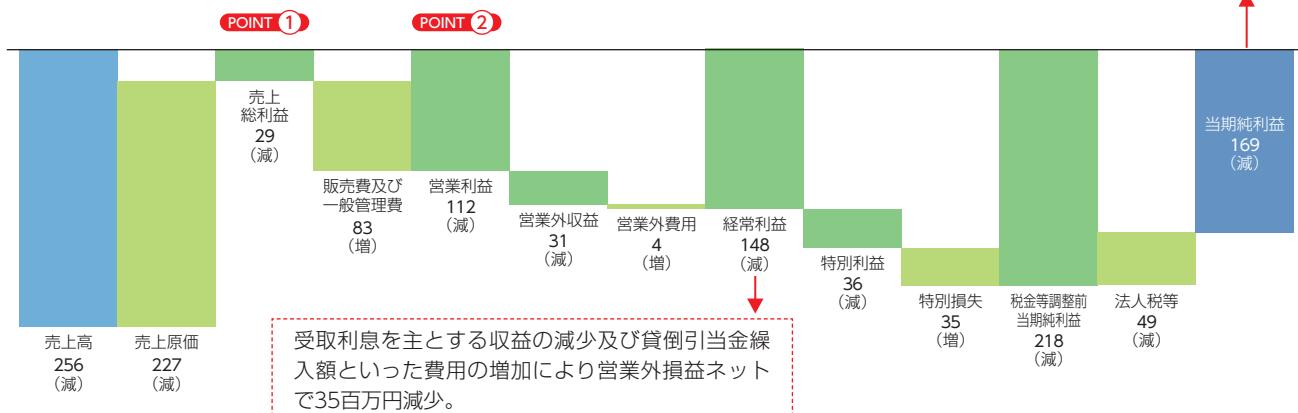
POINT ① 売上総利益 29百万円減益

売上減による減益…△256百万円
原価率の改善効果…+227百万円
(主要因)
【ファインケミカル事業】△219百万円
粗利率の高い一般消費者向けボディケアカテゴリ製品および業務用製品の販売が減少したこと、また粗利率の低い海外向け販売が増加したことによる。
【ポーラスマテリアル事業】+88百万円
海外向け半導体用途製品の販売減により減収となったが、粗利率の高い産業資材部門の国内向け販売が増加したことにより、増益となった。
【不動産関連事業】+76百万円
賃貸ビルのテナント入居数の増加と、温浴事業において来場者数・客単価がともに増加したことによる。

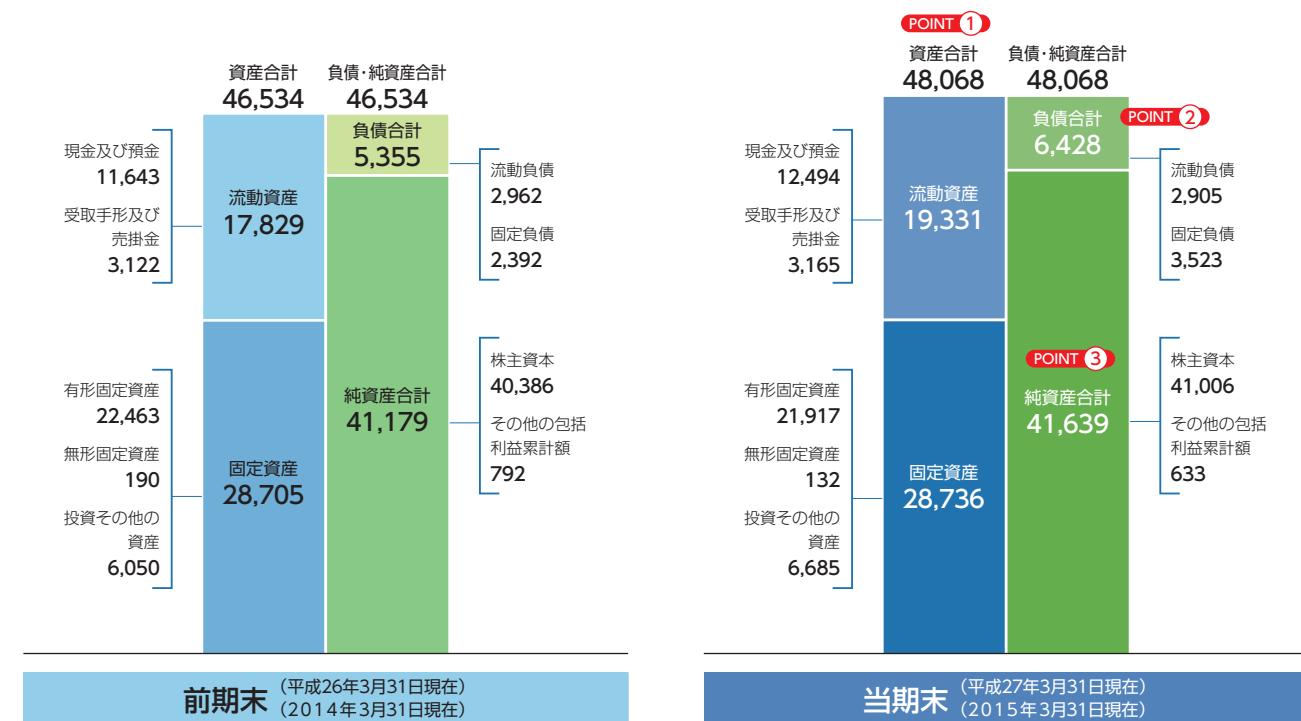
POINT ② 営業利益 112百万円減益

ファインケミカル事業において、新製品の投入にともなう広告宣伝費等の一過性の費用の増加で販売費及び一般管理費が83百万円増加したことによる減益。

前期との比較 (平成26年4月1日~平成27年3月31日) (単位: 百万円)
(2014年4月1日~2015年3月31日)



連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



POINT ① 資産合計

現金及び預金や有価証券の増加等により流動資産が1,501百万円増加。自動車整備鋸金事業の旧工場跡地を売却したことや、償却により有形固定資産が545百万円減少し、市場の株高傾向により投資有価証券が940百万円増加した。資産合計では前連結会計年度末に比べて1,533百万円の増加。

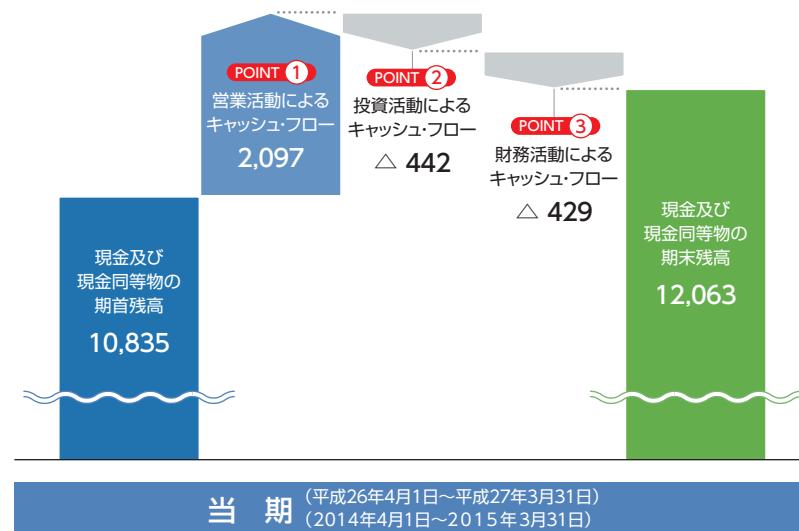
POINT ② 負債合計

主に未払法人税等の減少により流動負債が57百万円減少し、繰延税金負債や再評価に係る繰延税金負債が増加したことにより固定負債は1,130百万円増加した。負債合計では前連結会計年度末に比べて1,073百万円の増加。

POINT ③ 純資産合計

当期純利益943百万円と配当金の支払い368百万円の結果、利益剰余金が575百万円増加。退職給付に関する会計基準等の適用及び再評価に係る繰延税金資産の取り崩しによりその他の包括利益累計額が159百万円減少。純資産合計は前連結会計年度末に比べて460百万円の増加となった。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



POINT 1

営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益 1,690百万円
減価償却費 736百万円
たな卸資産の増加 120百万円
法人税等の支払額 780百万円

POINT 2

投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得支出 333百万円
有価証券・投資有価証券の取得支出 1,923百万円
有価証券・投資有価証券の売却・償還収入 1,305百万円

POINT 3

財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額 368百万円
「従業員持株会支援信託ESOP」導入に伴う借入金返済による支出 45百万円
自己株式処分による収入 44百万円

株式の状況 (平成27年3月31日現在)
(2015年3月31日現在)

株式の総数
発行可能株式総数 60,000,000株
発行済株式総数 22,274,688株

株主数
当期末株主数 7,994名
(自己名義を含む)

大株主	持株数	持株比率
サントレード株式会社	3,246,528株	14.9%
MIKIKO SUZUKI	1,492,656	6.8
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,004,100	4.6
ROYAL BANK OF CANADA TRUST COMPANY(CAYMAN) LIMITED DIRECTOR HISAAKI SATOU	948,400	4.4
株式会社エイチイーエス	835,000	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	799,200	3.7
株式会社みずほ銀行	709,600	3.3
田中 秀明	661,976	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	646,200	3.0
田中 信	603,720	2.8

※持株比率は、自己株式数(482,586株)を控除して計算しております。

会社の概要 (平成27年3月31日現在)
(2015年3月31日現在)

商号 株式会社ソフト99コーポレーション
設立 昭和29年10月28日
本社 大阪市中央区谷町二丁目6番5号
資本金 2,310,056,000円
従業員数 190名
事業内容 自動車用化学製品の製造及び販売

役員 (平成27年6月25日現在)
(2015年6月25日現在)

代表取締役社長 田中 秀明
取締役会長 田中 明三
常務取締役 西川 保
常務取締役 辻 平春幸
取締役 奥 埜佳秀
取締役 石 居 誠
取締役 田中 信
取締役(社外)※ 中 務 英 三
常勤監査役 古 居 祐
監査役(社外)※ 平 井 康 博
監査役(社外)※ 竹 村 聡
監査役(社外)※ 樋 口 秀 明

※上記4名の役員は、株式会社東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

ホームページのご案内 <http://www.soft99.co.jp>



IR情報ページ
業績レポートや、株式情報などをご覧いただけます。



商品情報ページ
新製品情報や、Q&Aなどをご覧いただけます。



TwitterやFacebookなどのソーシャルメディアアカウントとも連携しています。

